

無題  
2016年度事業計画  
自：2016年1月1日 至：2016年12月31日

特定非営利活動法人 視覚障害者パソコンアシストネットワーク

## 1. 活動方針

2016年度もSPANにとって厳しい年となりそうです。2013年度から続いている赤字体質を改善するため、2015年度には講座受講者の増加を図ったり、他団体が開催するイベントなどに参加してSPANの活動を広く発信するなどの対策を講じましたが、赤字幅が拡大してしまいました。

そこで、2016年度はこの流れを何としても止めるため、以下のような活動を展開していきたいと考えています。

- (1) 助成金を活用した事業展開。
- (2) SPANが持つノウハウを活かした事業受託。
- (3) 受講する方のニーズに即した講座の開催。
- (4) 寄付金の確保。

具体的には以下のようないくつかの活動を実施していきます。

- (1) 助成金を活用した東京以外の地域での就労支援事業を実施。
- (2) 官公庁等が募集する調査研究事業への積極的な応募。
- (3) 助成金を活用し、SPANがこれまで培った指導者養成のノウハウを活かした講座を開催。
- (4) 新たに半日(4時間)で完結するワンポイント講座を開催し、気軽に受講できる場を提供。
- (5) 会員のみなさんのご協力をいただきSPANの活動をPRして寄付金を確保。

実施事業としては、助成金を活用した仙台市での視覚障害者の就労促進事業のほか、東京以外の地域でのパソコンやタブレットPCの指導者向け講座を計画していきます。

そして、半日で完結するワンポイント講座を新設し、受講する方が気軽に参加できるようにします。テーマもパソコンのほか、タブレットPCなども取り上げていきます。  
また、SPANの広報誌などを活用して会員のみなさんのお知り合いの方にSPANを支援していただくお願いをしていきたいと考えています。

もちろん、これまで続けてきた講座開催やテキスト制作、またメールマガジンやWebサイトなどによる情報提供といった活動はSPANのベースとなるものですので、これからも大切にしていきたいと考えています。

## 無題

会員向けの活動としては、昨年度実施したSPANサロンは必ずしも会員のみなさんのニーズに合っていない面もあったので、開催回数を絞った上でより充実した内容にしていくほか、忘年会などの親睦活動を、より多くの方が参加できるよう会員のみなさんの声を聞きながら実施していきます。また、会員向けに毎月発行している「SPANニュース」も引き続きお届けして会の活動を会員のみなさんと共有していきます。

このように、2016年度もSPANにとって厳しい年となりそうですが、会員のみなさんと一緒に乗り越えていきたいと思っています。  
そのためには会員のみなさんのお力が不可欠です。  
ぜひ、SPANの目標である「一人でも多くの視覚障害者にICTを活用してもらう」という理念に向かって、一緒に活動していきましょう。

## 2. 活動計画

2016年度には以下の活動を計画しています。  
(別紙「2016年度活動計画」参照)